

名古屋大学 農学国際教育研究センター ニュース

平成30年12月1日発行 通巻34号(年2回発行)

発行/名古屋大学 農学国際教育研究センター

〒464-8601 名古屋市千種区不老町

TEL 052-789-4225(受付) FAX 052-789-4222

<https://icrea.agr.nagoya-u.ac.jp/>

e-mail:icrea@agr.nagoya-u.ac.jp

第7回JICA-JISNASフォーラム 開催のお知らせ

農国センターが事務局を務める農学知的支援ネットワーク(JISNAS)では、第7回JICA-JISNASフォーラム「産官学協働による農林水産分野途上国人材育成について～JICA開発大学院連携における農林水産分野の日本の開発経験とは～」を下記の日程で開催いたします。今回のフォーラムでは、年間約100名、10年間で約1,000名の留学生受入を目指すJICAの開発大学院連携・農林水産分野途上国人材育成計画案への理解を深めた上で、「産官学の協働による途上国農業開発・人材育成への協力」について意見交換するとともに、JICA開発大学院連携参加大学の事例等を基に、途上国留学生に伝えるべき「農林水産分野における日本及びアジアの開発経験」について議論を深めることを目指します。

(詳細につきましては、JISNASホームページ等にてご案内いたします。)

開催日：2018年12月14日(金) 13:30～17:00

(13:00受付開始 終了後に交流会あり)

場所：JICA研究所 (JICA市ヶ谷ビル、
東京都新宿区市谷本村町10-5)

主催：国際協力機構 (JICA) 農村開発部
農学知的支援ネットワーク (JISNAS)

後援：名古屋大学農学国際教育研究センター
(ICREA)

2018年度JICA国別研修ミャンマー「イエジン農業大学(YAU) 教員 研究能力向上研修」の実施

今年で3回目となる標記の研修を、名古屋大学大学院生命農学研究科、農学国際教育研究センターにおいて10月31日～11月8日に実施しました。イエジン農業大学(YAU)はミャンマーで唯一の農業・農学の高等教育研究機関であり、その創立は英国植民地期に遡り、90年余の歴史があります。しかし、長年にわたって教育研究基盤の整備が滞っており、教育・研究両面での質の向上が課題となっています。JICA-YAU能力向上プロジェクトでは、イエジン農業大学における教育・研究の現状を十分に把握し、それらの改善に向けた方策を教員団とともに検討してきています。本邦研修は、その検討をさらに深めるため、日本の大学の農学部(農学研究科)におけるこれまでの教育・研究体制の改革の歴史、ならびに農学教育・研究の現状についての情報の収集と実地での見学を行い、本プロジェクトの推進に資することを目的として実施しています。今回は、Kyaw Kyaw Win教授・副学長・農学科長、Yu Yu Min教授・応用微生物学科長、農学科のAye Aye Khaing准教授が来日し、生命農学研究科、農学部における英語での講義、学生実験、研究室ゼミ、フィールド科学教育研究センター東郷フィールドでの実習、農学国際教育研究センターでの研究活動を見学しました。また、部局の管理・運営の改善、カリキュラムの見直し、ファカルティーデベロップメント、国際交流、社会連携の取り組みに関して研修を受けました。滞在中には、植物生産系の研究室を中心に大学院生の研究活動の現場視察や、ミャンマーからの留学生との交流も行われました。

(江原 宏)



ミャンマー研修

川北生命農学研究科長(右端)、山内農国センター長(左端)表敬訪問